



甲州市・甲州市教育委員会は、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」を中心とした景観を未来に引き継いでいくために、文化財のひとつである「重要文化的景観」として国の選定を受けることを目指しています。選定に向けて、勝沼地域の特徴を明らかにするための学術調査からはじまり、イベントの開催、パンフレット・調査報告書概要版の刊行など多彩な取り組みをおこなっています。

令和3年度第5回「山梨近代人物館教育普及事業」



山梨近代人物学講座 土屋龍憲～ブドウとワインの一大産地の礎～開催しました!

令和3年10月3日(日)、令和3年度第5回「山梨近代人物館教育普及事業」山梨近代人物学講座が開催され、「土屋龍憲～ブドウとワインの一大産地の礎～」をテーマに文化財課職員が講演しました。

明治10年(1877)に日本初の民間ワイン醸造会社「大日本山梨葡萄酒会社」から高野正誠とともにフランスへ留学をした土屋龍憲(助次郎)の生涯を辿りながら、

フランスから帰国する際に記録した『帰航船中日記』や、留学後のブドウ栽培・ワイン醸造の技術をまとめた『葡萄栽培并葡萄酒醸造範本』『正明要録草稿』など、龍憲が地域に残した功績について紹介しました。

また、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」の学術調査の成果を含め、勝沼地域がブドウとワインの一大産地に発展するまでの地域の歩みにも触れて解説をしました。



土屋龍憲(助次郎) 安政6年(1859)～昭和15年(1940)

土屋龍憲は明治10年(1877)高野正誠とともにフランスへ渡った伝習生で、父親の土屋勝右衛門は日本初の民間ワイン醸造会社「大日本山梨葡萄酒会社」の発起人の1人です。明治19年(1886)に会社が解散すると、発起人の1人の宮崎市左衛門の子・光太郎とともに旧会社の醸造用具一式を譲り受け、2人で「甲斐産葡萄酒醸造所」を、明治21年(1888)には東京日本橋に「甲斐産商店」をそれぞれ設立し、甲斐産葡萄酒の醸造と販売を開始しました。

明治23年(1890)に共同醸造をやめ、土屋は単独で醸造を始めます。明治28年(1895)に甲府柳町に土屋第二商店を、さらに東京日本橋に土屋第三商店を開業、販路拡大を図りました。その頃、立正寺(勝沼町休息)北側の御料林を開墾し大規模ブドウ園を開設しましたが、明治40年(1907)の大洪水により壊滅してしまいました。

出版はされていませんが、『土屋龍憲実習録』、『葡萄栽培並葡萄酒醸造範本』、『正明要録草稿』を著述しています。また、『明治十年全十一年往復記録』及び『帰航船中日記』は、フランスで伝習した高野・土屋両氏の貴重な記録です。



高野正誠・当時25歳頃(左)
土屋龍憲・当時19歳頃(右)
フランストロワ市で撮影
明治10～11年(1877～1878)



高野正誠・当時29歳頃(左)
土屋龍憲・当時23歳頃(右)
桂二郎(中央)
東京都浅草にて撮影

地域の皆さんと交流！ 塩山北中学校「甲州市巡り」

令和3年11月4日(木)、塩山北中学校1年生が「甲州市巡り」として1日かけて市内の寺社仏閣やワイナリー、文化施設を見学しました。塩山北中学校では生徒が自分の住んでいる地域の歴史や文化について学び、郷土愛を育むことや地域の方々とふれあいを深めることを目指して、総合的な学習の時間で「甲州市巡り」を実施しています。

文化財課職員案内のもと、「歴史コース」「産業コース」に分かれて見学しました。歴史コースでは、市内に点在する武田家ゆかりの寺社仏閣を巡りながら、甲州市における武田家の歴史と文化、文化財を学びました。また、令和2年度にリニューアルオープンをした釈迦堂遺跡博物館に訪れ、日本有数の縄文遺跡の出土品を見学しながら縄文文化に触れました。

産業コースでは、甲州種ブドウ発祥の伝説を持つ大善寺からはじまり、観光ブドウ園やワイナリー、宮光園など歴史的な遺構を巡りながら甲州市のブドウとワイン産業の黎明と発展を学びました。

現地を訪れ、実際に現地の方々からお話を聞き、交流を深めながら地域の歴史や文化、産業を学んだ1日となりました。



■大善寺・柏和葡萄酒 井上さんご案内



■若尾葡萄園・マルサン葡萄酒 若尾社長

News 地域の再発見！



勝沼CATV開局20周年記念番組「歩こう！勝沼フットパス」

勝沼CATVでは、開局20周年を記念して地域に設定されたフットパスコースを「勝沼フットパスの会」のガイドの方々ご案内のもと巡る番組を制作・放送しています！この番組は勝沼地域の歴史や文化を楽しみながら学ぶことを目的に、全5回シリーズで放送予定です。

第1回は江戸時代、甲府盆地と江戸の接点として、多くの物資が集散する中心地としてにぎわいをみせていた「勝沼宿」や戦国時代の城下町特有の直角に曲がる“鍵の手”の道筋が今も残る「小佐手小路」を中心としたフットパスコースが番組となりました。(放送期間：11月15日(月)～21日(日))

12月放送予定の第2回は「大善寺界限」を巡ります。ぜひ今一度地域の再発見をしてみましょう！

主催：勝沼フットパスの会／制作：勝沼CATV

今日の勝沼ワンポイント

collection 9 甲州街道 勝沼宿

甲州街道は江戸幕府によって整備された五街道のひとつです。勝沼宿は元和4年(1618)に新規宿駅として設置されたと記録にあります。甲府盆地の東の玄関口にあり、江戸日本橋から31里26町(約124km)、宿場の長さは16町26間(約1,745m)でありました。

天保14年(1843)には家屋192軒、本陣1軒、脇本陣2軒、問屋1軒、旅籠(はたご)屋23軒があり、甲府盆地と江戸の接点として、多くの物資が集散する中心地としてにぎわいをみせました。



■明治40年代の勝沼宿

皆さまがよい年を迎えられますようお祈り申し上げます。そして、来る年もどうかご愛読よろしくお願いいたします。



かつぬま旬報 vol.10 Spring 2022は

3月1日発行予定です。

令和3年(2021)12月1日 発行

編集・発行：甲州市教育委員会文化財課

山梨県甲州市塩山上於曽 1085 番地 1

TEL: 0553-32-5076

FAX: 0553-32-5172

詳しくは

勝沼 文化的景観

